



点検支援技術
D X 技 術
無 人 化

がれきも乗り越えるクローラ型ロボット

人が入れない場所に、先に行く。安全・確実な現場調査を実現

人が立ち入れず、調査が困難な現場での対応にお困りではありませんか？

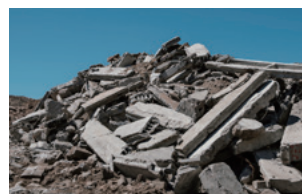
浅い水路、下水管、有毒ガスが残る空間、災害直後の現場など、従来の方法では対応が難しかった過酷な環境でも、フィールドを選ばない防水クローラ型ロボットが、人に代わって安全で確実な調査を実現します。

これまでの問題点

こんなシーンはありませんか？

- 災害直後の対応を可能にしたい
- 過酷な現場での作業効率と安全性を両立させたい
- 非出水期や干潮時など、水深の浅い現場ではボートが使えない
- 危険・狭小な空間を、安全・確実に可視化・調査したい
- 狭隘な函渠等では無線通信が届かず、調査が困難
- 防水性の劣る機器は、洗浄やメンテナンスに手間がかかる

人が進入するには危険



◀がれきの山

人の進入が困難、かつボートやドローンなども使えない



▲小口径で通水のない管路



▲狭隘で水深の浅い溝橋



こんなシーンで活躍します！

このクローラ型ロボットは、人が立ち入れない、あるいは危険を伴う現場での調査や点検で活躍します。

悪路や狭隘空間、さらには災害や火山といった過酷な環境にも対応できる設計で、さまざまな現場に柔軟に対応可能です。

『利用シーン・対応場所』

- 災害直後の危険区域への進入
- 水深の浅い水路の点検
- 狭隘な溝橋、箱桁内部、下水道管内などの点検・調査
- 活火山での調査(有毒ガスの検知や土壌サンプリング)
- 法面や斜面上での点検・調査 など

タブレットで遠隔操作し
リアルタイムに映像確認



がれきなどの段差も踏破



雨や雪など全天候に対応



ライト搭載で暗所も対応



U字溝も難なく通過



悪路や斜面でも安定走行



ぬかるみでも高い走破性

技術の特徴 2

目的によって搭載機器を柔軟に変更

多様な現場状況に対応するため、機材の構成を柔軟にカスタマイズできます。標準装備のカメラやライトだけでなく、あらゆる調査計測機を搭載でき、過酷な環境でも現場状況に応じて必要な点検・調査を安全・確実にを行います。

ポイント

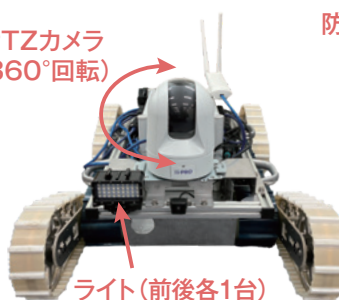
- ▶ 可搬重量15kg
カメラやセンサーなど目的に応じた機材を搭載可能
- ▶ 有線・無線両用
環境に応じてモード切替が可能
- ▶ 防水仕様
使用後はまるごと水洗いでき、メンテナンスが楽
- ▶ コンパクト設計
軽量で狭所走行もスムーズ、一人で持ち運び可能

暗いところでも
全方向撮影可能

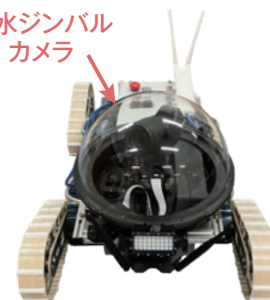
どんなに揺れても
安定撮影

PTZカメラ
(360°回転)

防水ジンバル
カメラ



ライト(前後各1台)



PTZカメラで撮影した
ボックスカルバート内の
映像

1人で持ち運び可能
車体重量:約24kg
全長:800mm/全幅:500mm

